

第228回研究科委員会・第334回教員会議 議事要録

日時：令和4年3月4日（金） 16：00～17：40

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

議 題

研究科委員会

[審議事項]

1．入学試験委員会

(1) 令和4年度大学院入試（3次募集）合否判定について

回収資料に基づき、共生システム理工学専攻（博士前期課程4月期）の一般入試1名、環境放射能学専攻（博士前期課程4月期）の一般入試1名、共生システム理工学専攻（博士後期課程）の一般入試1名（留学生）と社会人特別入試1名、環境放射能学専攻（博士後期課程）の一般入試1名（留学生）の合格が提案され、承認された。

補足として、今年度の大学院入試においては、共生システム理工学専攻博士前期課程では定員53名に対して計53名が合格、環境放射能学専攻博士前期課程では定員7名に対して計4名が合格、共生システム理工学専攻博士後期課程では定員4名に対して計3名が合格、環境放射能学専攻博士後期課程では定員2名に対して1名が合格したことが報告された。

教員会議

[審議事項]

1．学類長

(1) 教員の昇任について

はじめに、今回の教授昇任枠が2名であることやそこに至るまでの経緯、人事委員会での選考について説明された。次に、2名の教授承認について回収資料の申請書に基づいて説明され、准教授への昇任年月日の記載について確認の後、2名の教授昇任が発議された。

審議の結果、提案のとおり2名の准教授を被選考者として決定し、教員資格調査委員会を発足させ、調査を委託することとした。

(2) 教員資格調査委員会の設置について（投票）

投票が行われ、1名の准教授に関しては、所属分野から2名の教授、他分野から2名の教授が選出された。この4名の他、被選考者の所属する分野に最も関連する学系からも1名の教授が推薦された。また、もう1名の准教授に関しては、所属分野から2名の教授、他分野から2名の教授が選出された。この4名の他、被選考者の所属する分野に最も関連する学系からも1名の教授が推薦された。

2．入学試験委員会

(1) 令和4年度一般選抜（前期日程）合否判定について

回収資料にもとづき、一般選抜（前期日程）の合否判定案（志願者135名、受験者132名、合格者92名）が提案され、承認された。合格者の男女数や県内出身者数などが補足説明された。

[報告事項]

1．教員免許状更新講習推進室

(1) 令和4年度教員免許状更新講習について

令和4年度教員免許状更新講習については、今国会で更新講習廃止の法案が成立した場合更新手続きが必要でなくなるが、法案が成立しなかった場合に備えて何科目かは準備する、ただし、募集は開始せず、法案不成立の後に募集を開始する予定である等の説明があった。

教育研究評議会

第376回(2月15日開催)報告

【報告事項】

(1) 労使協定の締結について【資料1】

資料1に基づき、第578回役員会(2月14日開催)で審議・了承された、令和4年度の「時間外労働・休日労働に関する協定書」、「裁量労働制に関する協定書」及び「1年単位の変形労働制に関する協定書」の労使協定書案について、就業条件検討委員会での審議を踏まえ、書面にて報告があった。

第377回(2月22日開催)報告

【審議事項】

(1) 令和3年度教職大学院認証評価結果(案)に対する意見申立について【資料5】

資料5に基づき、一般財団法人教員評価機構より、1月24日付けで通知された令和3年度実施教職大学院認証評価結果(案)への対応として、意見申立ては行わず、誤字等の修正のみ行うことが提案され、承認された。

(2) 福島大学教職課程センターの設置について【資料6】

資料6に基づき、福島大学教職課程センター(仮称)構想検討WGにおいて検討した結果の報告と、福島大学教職課程センターの設置について提案があり、承認された。

(3) 福島大学キャリアセンターの設置について【資料7】

第375回教育研究評議会において最終報告のあった福島大学キャリアセンターの設置について提案があり、承認された。

(4) 大学院の改革について【資料8】

資料8に基づき、第364回教育研究評議会(8月31日開催)で仮確定した教員配属に関して、その後の専攻名変更(現)文化共創専攻(新)人間文化専攻)及び研究科間の調整による配置の変更があった箇所について説明があった。また、役員会において審議する入学定員の変更案(現)入学定員142名(新)入学定員119名(23名))について説明があった。理工学研究科に関しては、これまでの案に対して環境放射能学専攻の定員を1名増やして45とすることが提案された。原案のとおり承認され、入学定員の変更案について、役員会において審議することとした。

【報告事項】

(1) こおりやま広域連携中枢都市圏公民協奏パートナーシップ包括連携協定の締結について

【資料1】

資料1に基づき、こおりやま広域連携中枢都市圏(全国34か所で都市圏ビジョンを制定)と国立大学法人福島大学が締結した公民協奏パートナーシップ包括連携協定について報告があった。

(2) 役員給与規則の一部改正について【資料2】

資料2に基づき、国家公務員給与法の改正(予定)に伴う役員給与規則の改正案、並びに本件に係る役員会及び就業条件検討委員会の審議状況について報告があった。

(3) 就業規則の制定等について【資料3】

資料3に基づき、令和4年4月1日付で制定、改正及び廃止する就業規則案について報告があった。

(4) 国立大学法人福島大学と国立研究開発法人日本原子力研究開発機構のクロスアポイントメント制度に関する変更協定の締結について【資料4】

資料4に基づき、本学と日本原子力研究開発機構が締結しているクロスアポイントメント協定について、令和4年度も継続実施すること、継続実施にあたり当該協定の1年間の期間延長を行うことが役員会において承認されたことについて報告があった。

(5) その他

なし

第378回(3月1日開催)報告

【審議事項】

(1) 大学院の改革について【資料3】意見聴取

第588回役員会(2月28日開催)において確認された大学院(修士課程、博士前期課程、専門職学位課程)の入学定員の変更について提案があり、3月8日評議会で戻り報告を行うので、ご意見があれば3月7日(月)昼までにお寄せいただきたい、とのアナウンスがあった。

また、教職大学院に係る文部科学省への第4回事務相談を3月9日(水)に実施することについての報告及び大学院の教育プログラムの具体化に向けた検討の進捗状況について報告があった。

【報告事項】

(1) 食農学類教員の定年延長等について【資料1】

第52回教育研究院会議(2月22日開催)及び第589回役員会(2月28日開催)にて審議・承認された食農学類教員の定年延長及び特任Bでの任用について報告があった。また、このことに伴う就業規則の改正内容(附則の追加)について説明があった。

(2) 第4期中期計画(未記載事項)の策定について【資料2】

文部科学省から2月21日付けで通知された「中期計画に記載することが必要な事項等について」を踏まえ、第4期中期計画の「その他の記載事項」中の未記載事項を策定したことについて報告があった。

(3) その他

【アナウンス】

(1) ウクライナへの義援金募集について【資料4】

ウクライナの被災された方々への人道的支援のため全教職員に募る義援金について説明があり、各部局における周知及び義援金への協力依頼があった。

運営会議

第172回(2月15日開催)報告

【議題】

1. 会議運営の見直しについて【資料1】

資料に基づき、効率的な情報共有及び教員負担の軽減のため、令和4年度以降の会議運営について、資料の通り見直したい、との説明があった。事務職員2名を構成員に加えるという運営会議規則の改正に対して、適切な審議ができるのかといった疑念が表明された。

2. 大学院の改革について【資料2】

2月7日(月)に実施した文部科学省への第9回事務相談(教職大学院・第3回)の概要報告(第375回教育研究評議会)、及び、2月9日(水)に開催した第3回教育プログラム連絡調整会議で確認された内容について報告があった。

3. その他

電気・ガス・水道使用量について(R4.1月分)

令和4年1月分の電気・ガス・水道使用量(金谷川)について報告があった。